

総合工学委員会・電気電子工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：IFAC 分科会

1	所属委員会名	総合工学委員会委員会 ○電気電子工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>制御工学分野における世界的学術組織である IFAC (The International Federation of Automatic Control) は1957年に設立され、各国に一名の代表委員が国際委員組織に登録されている。現在、日本の代表機関は日本学術会議であり委員は福田敏男教授が務められており、総会の議決権を有している。IFAC の中には TC と呼ばれる技術委員会があり制御工学に関する様々な技術課題を検討し、また国際会議を主催している。IFAC 全体の会議は3年ごとに開催される World Congress (世界大会) の実行委員長が IFAC の会長を3年間務める。また、学術誌 Automatica も発行しており世界的な活動を展開している。</p> <p>本分科会は、制御工学における日本の貢献を世界に発信する場として IFAC を活用すべく、その活動を支援するための母体となっている。特に、2017年のツールーズ、2020年のベルリンに続いて、2023年に世界大会を我が国に招致することは大きな活動目標である。また、各種の技術委員会に多くの委員を送り込むとともに、TC 主体の国際会議を招致し、国際的な学術交流に寄与することもその目的とする。制御工学は学際領域をカバーする学術横断的な性格を持っており、IFAC を通じた学術コミュニティとの連携はその発展に寄与する。</p> <p>本分科会は IFAC を中心としたこれらの活動を通じて、制御工学の発展に貢献することを目的とする。</p>
4	審議事項	国際自動制御連盟 (IFAC) への対応に関すること
5	設置期間	<p>時限設置 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日</p> <p>常 設</p>
6	備考	